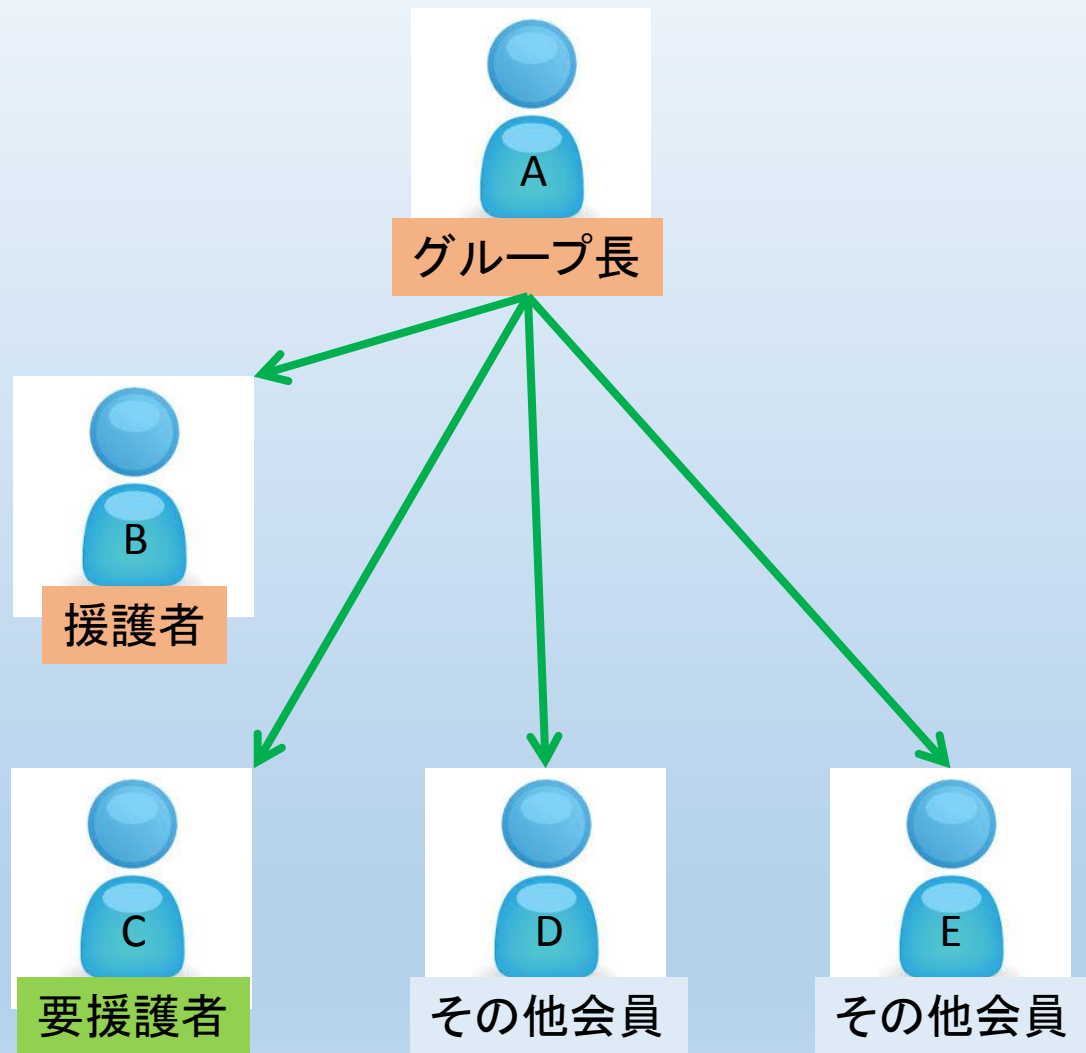


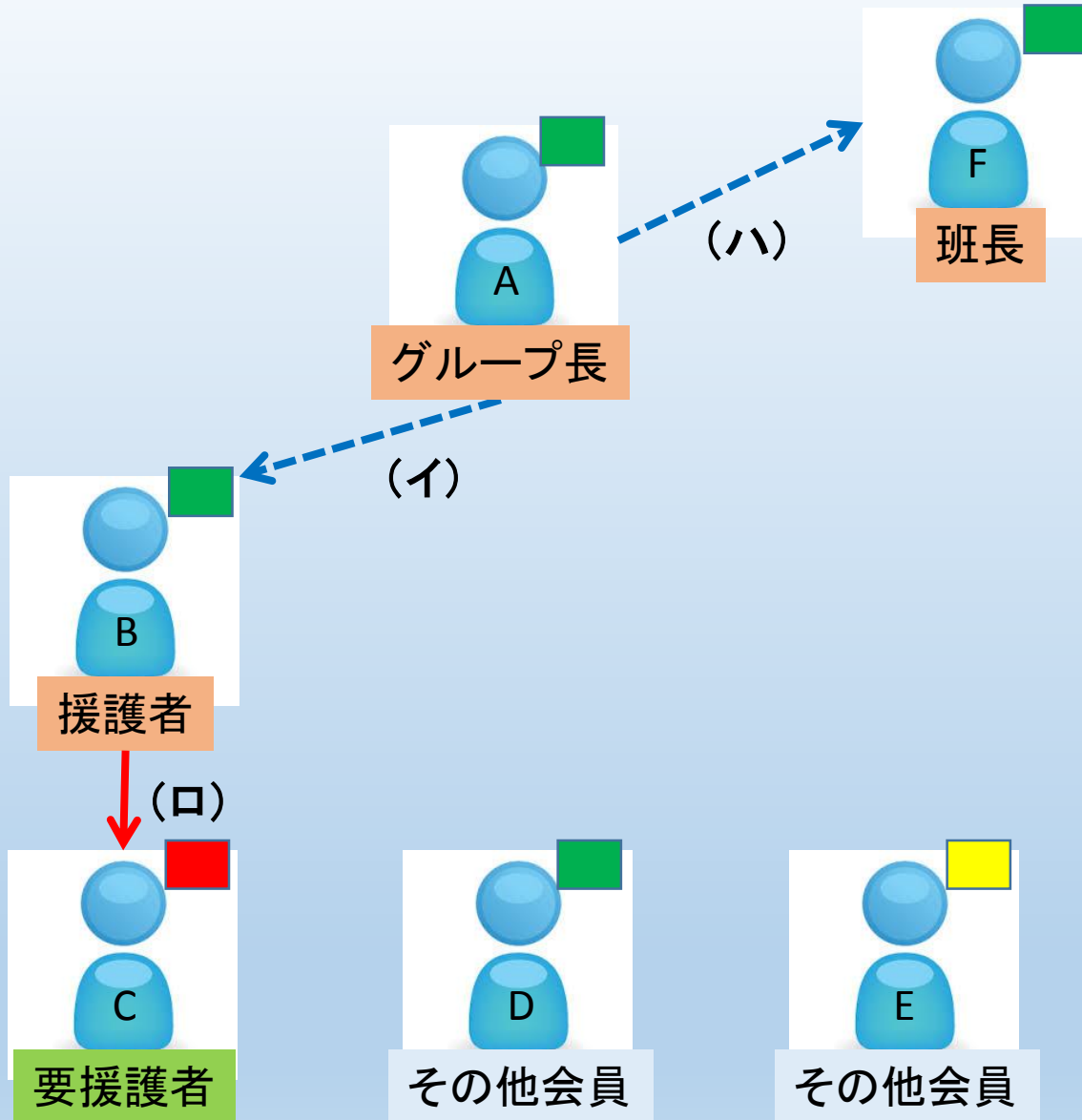
■各班発災時の連携図ー1



発災後、自身と家族の安否確認、家屋の損傷確認後、グループ長或いは副グループ長はグループ内全員の安否確認。

正副会長・防災部長は自治会館に詰める。

■各班発災時の連携図ー2



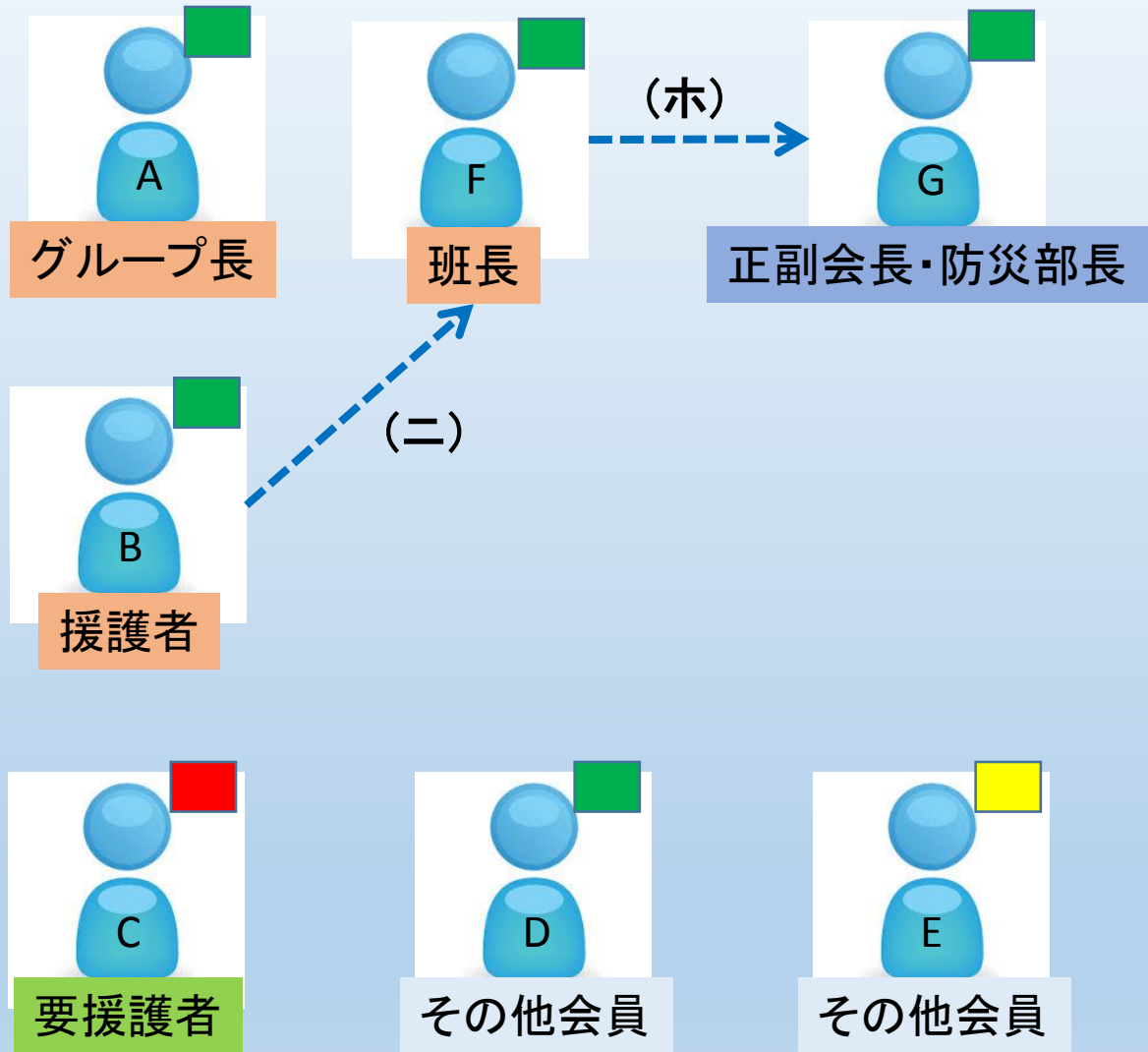
要援護者(C)の援護が必要な場合、グループ長は担当援護者(B)に援護依頼(イ)。
援護者(B)は要援護者(C)の援護に向かう(ロ)

グループ長は各会員の状況を班長(F)に報告(ハ)。

【班長不在の場合は副班長】

安否確認できた家屋は救助マーカーを掲示する。

■各班発災時の連携図ー3



援護完了後、援護者(B)は班長【不在の場合は副班長】へ報告(二)。班長は正副会長・防災部長へ報告(ホ)。

■ 救助マーカ－の使い方

*対象家屋玄関先の目立つ場所に掲載ください。

○名負傷

「赤」: 救助が必要な人が閉じ込められている。
或いは怪我をしている人数がわかれば書き込む。

「緑」: 居住者は無事、又は避難済

「黄」: 不明(安否が確認できない)
(正副グループ長のみ所持)

赤と緑マーカ－は各戸に配布しますので、ご自身で掲示できる場合は掲示お願いいたします。

緊急連絡先

	氏名	住所	連絡先	備考
援護者				
援護者				
グループ長				
副グループ長				
班長				
副班長				
会長				
副会長				
防災部長				